

鶴嶺東地区まちぢから協議会会議報告書

部会名	防災減災部会	会議名	防災減災部会会議		
日付	令和 7 年 5 月 9 日	場 所	鶴嶺東コミセン A 会議室	記入者	嵩
<主な内容>					
配布物：令和 7 年度 5 月度防災減災部会会議次第、【資料 1】役員担当一覧表、【資料 2】活動スケジュール					
1. 役員の選出及び自己紹介（議事 1）					
【資料 1】に従い部会長にサニータウン増田氏、副会長にサニータウン木下氏、書記にホームタウン嵩氏を選出した。その後、出席者の簡単な自己紹介を行った。					
2. 今年度の活動スケジュール案（合同避難訓練）についての意見交換（議事 2）（関連：議事 4）					
昨年度、一般住民を対象とした体験型合同防災訓練の実施を計画したが、衆議院選挙投票日と重なり、延期となった。その後代替開催日を模索したものの日程が折り合わず令和 6 年度の開催は中止となった経緯がある。 今年度の活動内容は合同防災訓練を実施することを前提とした案となっている。【資料 2】 なお、実施日については 2025/10/25（土）を防災対策課に会長から申請し押さえてある。 この案に対して、意見交換を行った。 ・合同防災訓練実施ありきなのか、実施するとしたらどのような内容で行うか。 ・要支援者への対応はどのように考えるか。 ・防災対策課からは、避難所開設に関する実践を盛り込んで欲しいという要望があるがどのように対応するか。 ・合同防災訓練の内容は一般住民に「自分の命は自分で守る」を体験する内容を中心に据えたら良いのでは。 ・開催会場はどこにするか。開催場所によっては鶴嶺東地区住民でも参加しづらいことも考慮しなければならない。 ・昨年度の合同防災訓練計画書も参考にするのが良い。 ・各単位自治会（防災会）に持ち帰り意見を集約して、次回部会で決定する。					
3. 各自治会等の自主防災活動についての提案					
単位自治会ごとに、自分たちの地域で、どんなリスクがあるかを把握する活動を通年で行ってはどうか。 その結果に基づき、想定されるリスクに対して、どのように対応すればよいか予め備えることが防災・減災につながる。					
4. その他（議題 5）					
昨年度部会長の石井氏が開設したグループ LINE「鶴嶺東地区まちぢから協議会防災減災部会」に新規部会員の登録を行った。参加者は現在 18 名。 このグループ LINE は部会の資料や議事録の配布、連絡や情報交換などに活用できることは昨年度実証済み。					
<次回の予定・内容>					
6/13 全部会開催後 13:30 ごろから開催。合同					
<その他>					
出席者：円蔵：高橋（秀）、矢畑：吉野、高橋、西久保：諸岡、石井、浜之郷：浪越、中村、尾坂、下町屋：内藤、TBS：阿部、吉原、サニータウン：青山、増田、木下、ホームタウン：武内、石川、嵩、アイランズ：野本、市民自治推進課：原田（出席者は所属自治会単位で表示）					